

任天堂班

江口凜太郎・小林未奈・長崎絢・中島佑輝・渡辺実果

1. 準備に関する反省と感想

私たちのグループは任天堂とソニー・コンピュータ・エンタテインメントを比較しながら、任天堂の将来性について調べました。夏休み前までは主に任天堂の現状を有価証券報告書や雑誌記事、新聞記事など分担して調べました。相手の SCE についてのデータを集めていなかったもので、秋学期からは SCE についても調べながら、任天堂のこれまでとこれからの戦略についても具体的に調べ、まとめました。

反省として、任天堂の売上高と経常利益のグラフを連携、さらに売上高の移行と過去の経営戦略についても連携させながら説明できれば、より良いものになったと思います。

2. 報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちのグループは任天堂と SCE の現在の経営状況、これまでの経営戦略、これからの経営戦略という流れで発表しました。経営状況では各企業の主力商品発売時期と売上の移行を報告し、経常利益や自己資本比率から任天堂が健全な経営をしていることを明確にしました。これまでの戦略では、ブルーオーシャン戦略という任天堂を成功に導いた戦略について説明しました。これからの経営戦略においては、今後の主力商品である 3DS を中心に、ブルーオーシャン戦略が続いていること、さらに別の層への戦略でもあることを報告しました。それらから今後任天堂がやるべきだろうと考えたことをまとめました。

質疑ではブルーオーシャン戦略についてと 3DS の期待度について聞かれましたが、どちらもわかっていたことなのでしっかりとこたえました。

3. 合同ゼミに対する感想と反省

合同ゼミ当日は、プレゼンテーションの練習の成果と個人の努力により、それまでが一番良い発表ができたと思います。相手のチームとは、少し分野の食い違いがあり質問をする時に少し戸惑いましたが全員が真剣に考え、相手からの質問にも全員で話し合い、しっかりと答えることができました。

今回の合同ゼミを通じて、プレゼンテーションのプロセス、資料や情報の集め方はもちろん、事前準備、練習やチームワークの大切さを実感することができました。今後の勉強や就職活動に活かせる大変良い経験でした。

(文責 渡辺実果)